

NPO 法人大阪障害者センター研修事業

福祉施設職員

グループリーダー研修講座

2017年度募集要項

主催；NPO法人大阪障害者センター

後援：きょうされん大阪支部

障害者（児）を守る全大阪連絡協議会

事務局；〒558-0011 大阪市住吉区苅田5-1-22

電話 06-6697-9005 FAX 06-6697-9059

ご案内

大きな福祉制度改革の変更の中で、現場では、スタッフ不足の状況などに加え、非常勤職員の比率も高まるなど、厳しい条件が加速しています。そんな中で、これまで現場が大切にしてきた理念を生かした新たな実践の創造が求められています。同時に、単なる支援にとどまらず、コンプライアンスの順守や権利擁護の厳格化等制度への対応も厳しく求められています。また、人手の不足や事業の不足に対し厚労省は新たに「福祉提供ビジョン」等を配信し、「福祉の生産性」等をテーマに、その質的転換も進めようとしています。

そんな中で「集団実践をどう組織していくのか。」「成果主義に陥らない、本来の支援はどうあるべきか。」等現場職員の悩みは増すばかりです。

こうした中、支援実践の基本的な視点を再度整理し、かつ新たな支援がもとめられる課題への対応を学びながら、福祉労働の専門性をさらに向上させ、日常実践への確信と今後の展望を切り開くためのキャリアアップを図る場が是非必要との声に応じて、今年度も特に現場での実践の中核となるグループリーダーの研修講座を設けることとなりました。

このコースでも、現場の声を組み入れ、現場管理者の悩みを中心に、少数精鋭で、一方的な講義方式をやめ、グループワークや集団討議などを位置づけ主体的学習姿勢に基づく研修計画とさせていただきます。

業務など各種条件の厳しい中ではありますが、新たな課題に積極的に対応する現場職員としての資質向上のため、是非積極的なご参加を期待しています。

対象者；現場主任。グループリーダー

期間；半年間 月1回程度の研修及び佛教大学と共同してグループワークの時間設定を行ないます。

受講料；加盟施設職員 無料（大阪障害者センター未加盟施設職員 5万円）

会場；大阪障害者センター 大会議室

定員；15名（基本的には法人・施設からの推薦者を優先します。少数精鋭方式のため、定員になり次第募集を締め切ります。）

※全講義修了者には、修了証書を発行します。

※当該研修の学びを、ぜひ積極的に職場に持ち帰り、職場で活かせるよう、送り出し職場でのご配慮をお願いいたします。

研修内容及びスケジュール

・障害者自立支援法と実践の創造 ～集団主義実践と個別支援計画～	峰島 厚(立命館大)	9月6日(水)PM1:00～	障害者制度改革への展望と、こうした制度改革に対抗する支援実践のあり方を考える
・職員の力量を高めるための支援とは	井上泰司(大阪障害者センター)	10月12日(木)PM1:00～	福祉現場で職員を育てていくための、スーパーバイズやOJTとは何か
・福祉事業所の災害対策について考える～協議と協働を通じて困難を乗り越える～	後藤 至功(佛教大)	11月13日(月)PM1:00～	1 福祉事業所における災害対策の必要性を認識しよう2 具体的なシチュエーションで考えよう3 災害対策マニュアル・福祉避難所マニュアル(BCP、BCM)について考えよう
・インフォームドコンセントに基づく支援の実際	加藤大輔(中部学院大)	12月11日(月)PM1:00～	インフォームドコンセントを前提とした相談・支援のあり方とは
・現場におけるストレス対処法を身につけよう	山本千晶(臨床心理士)	2018年1月22日(月)PM1:00～	現場における職員のストレスの要因とその対処法を考える
・現場での様々な判断と「ハウレンソウ」～障害者の人権に着目して～	井上泰司(大阪障害者センター)	2018年2月15日(木)PM1:00～	現場におけるリスクマネジメントと現場での様々な判断基準と対処法を考える

会場案内図

公共交通機関をご利用の方；地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、徒歩約10分。

大阪市営バス「苺田小学校前」下車、徒歩約2分。



2017年度グループリーダー研修申込書

推薦者氏名		施設名	
連絡先			
電話		FAX	
受講者氏名		施設種別	
現在の職歴		職歴	
受講動機			